

灯火親しむべし

皆さんは「○○の秋」といえば、どんな言葉をイメージしますか？「食欲の秋」や「スポーツの秋」、「芸術の秋」などいろいろありますが、「読書の秋」を思い浮かべた方も多いのではないのでしょうか。

では、なぜ「読書の秋」なのでしょう？言葉の由来は、古代中国の韓愈という詩人が詠んだ「灯火親しむべし」という漢詩の一節からといわれています。これは「秋の夜は過ごしやすから、灯りで読書をするのに適している」という意味です。

ところで、世間では近年「読書離れ」が進んでいるといわれています。平成28年社会生活基本調査結果（総務省統計局）によると、自由時間に趣味・娯楽として読書をした人の割合は平成13年をピークに、平成28年まで男女ともに減少しています。（男性41・3%↓34・8%、女性49・4%↓42・4%）この2つの年で最も大きく変化したのは、20代から40代までの女性の割合で、平均でおおよそ15%減少しました。これは女性の就業率が上昇し、家事や育児に加え、

仕事で忙しい女性が増えたこと
の表れと推測できます。

平成25年度国語に関する世論調査（文化庁）によると、読書量が減っている理由（2つまで回答可）の上位は、「仕事や勉強が忙しくて読む時間がない」（51・3%）、「視力など健康上の理由」（34・4%）、「情報機器で時間が取られる」（26・3%）と続きます。やはり仕事などで忙しく、そもそも自由な時間が取れないことが大きな理由となっているようです。またスマートフォンやタブレット端末などの普及により、「情報機器で時間を取られる」を理由とする割合が、平成20年度の14・8%から大幅に増えています。現在ではさらに普及が進んでいるため、自由時間の使い道として、大きな割合を占めそうです。

しかし、このようなデジタル機器があふれる現在だからこそ涼しくなった秋の夜長、耳に心地よい虫の声をBGMに、どっぷりと本の世界に浸る。そんなアナログな時間があったもよいのではないのでしょうか。

〈他人事じゃない!? 怖~いトラブル〉

消費生活のお話

まちづくり推進課(内線185)

心当たりのないメールから
巻き込まれる消費者トラブル

メールの着信がトラブルの発端となる左記のような事例の相談が、センターに多数寄せられています。

（事例）

- ① 間違いないメールを装ったメールに返信したら、出会い系サイトへ誘導された。
- ② お金がもらえるとという当選メールが届き、受け取るための費用を支払ったが入金されない。
- ③ 有料サイトの未納料金を請求するメールが届き、支払ってしまった。
- ④ コミュニティサイトをかたるログイン確認メールに誘導され、個人情報を入力したら、アカウントを乗っ取られた。

心当たりのない不審なメールが届いたら、そこに記載されている連絡先へは決して連絡しないようにしましょう。

また、実在する事業者名のメールが届いて不安な場合には、事業者の公式ホームページを検索し、そこに掲載されている連絡先に問い合わせるなどして、内容の確認をしましょう。

心配なメールが届いた場合は、早めに消費生活相談窓口にご相談ください。

消費生活相談窓口

日時 月～金曜日 午前9時～午後4時（予約優先）

場所 まちづくり推進課（文化プラザ隣）

※相談には、できるだけ契約者本人がお越しください。

